

G-CITY 戦略を策定

G-CITY戦略とは
北九州学術研究都市をバージョンアップする戦略



ビジョン 大学の「知」と先端産業が融合し、新たなイノベーションが連続して生まれる街

※「G-CITY」=GREEN(グリーン転換/グリーン・トランスフォーメーション)/GLOBAL(世界中)/GRID(つながる)/GAKKEN(学研)



北九州学術研究都市は、平成13(2001)年に「アジアに開かれた学術研究拠点」として開設されました。新産業の創出や技術の高度化を目指し、理工系の大学・研究機関・企業が、国内で唯一、同一キャンパスに集まっています。

これまでの実績



5つの柱 (施策の方向性)

1 稼げる



2 つながる
産学連携機能の強化



3 集まる
先端企業・研究機関の集積



4 魅力あふれる
まちづくり・エリアの魅力向上



5 世界を巻き込む
グローバル・イノベーションハブの形成



東京科学大学との協働がスタート!

北九州市、北九州産業学術推進機構、東京科学大学は昨年8月に三者連携協定を締結しました。締結以降、学術研究都市の産学連携機能の強化や東京科学大学の北九州の活動拠点設置などについて協議を進めています。



北九州市は、空港や港など物流拠点としての基盤がすでであり、多くの大学や企業などイノベーションを起こす上でのポテンシャルがそろっていることが大きな魅力です。地元の人には当たり前と感じられるかもしれませんが、我々から見ると、これだけ恵まれた都市は非常にまれです。また、北九州学術研究都市のように多くの大学が集積していると、研究に新しい視点が入り、自分の大学だけではできなかった課題解決にもつながると思います。若い世代には、ぜひ広い世界を見てほしいです。グローバルな視点や幅広い人脈を得た上で「北九州市をもっと良くしよう」と思うような人材が育っていくといいですね。

北九州市を選んだ理由は?



▲東京科学大学副学長 大嶋洋一さん

G-CITYの目指す姿

学術研究都市の大学が獲得した外部研究資金(国・民間資金の計)

5年後 **50** 億円

学術研究都市発のスタートアップ起業社数

10年間 **30** 社

学術研究都市への誘致件数

10年間 **200** 件



▲詳細はコチラ

このほかにも、恵まれた産業基盤や豊富な理工系人材を生かして、宇宙、半導体、次世代自動車などの未来産業の育成・振興に取り組んでいます。

宇宙産業の振興

市内企業の宇宙産業サプライチェーンへの参入や、宇宙スタートアップ創出などに取り組んでいます。

リアルスペースワールドを目指して



九州工業大学発の宇宙スタートアップ

九州工業大学は、小型・超小型衛星の運用数が学術機関の中で世界一なんです。これは長年、北九州というものづくりのまちで産学官連携や国際連携に取り組んできた結果だと思えます。

当社は、新興国の政府・企業向けに、衛星開発のトレーニング事業や超小型衛星を活用した社会課題解決サービスを提供していますが、大学に留学生など豊富な海外人材がいることも大きなメリットになっています。

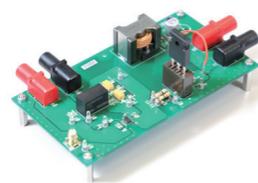


北九州市製の衛星が世界から注目されることが我々の目標です。

▲株式会社Kyutech Space Solution for Emergencies 代表取締役 布施哲人さん

半導体産業の振興

先端半導体の研究開発や、高度人材育成、半導体関連企業の誘致などに取り組んでいます。



学術研究都市に半導体の研究開発拠点を開設

九州はパワー半導体の領域で大きな産業集積があり、中でも北九州学術研究都市にはこの分野に強い九州工業大学や早稲田大学などがあるため、活動拠点として選択しました。

昨年、JAXA(宇宙航空研究開発機構)と、当社が力を入れるダイヤモンド半導体の宇宙機応用を見据えた共同研究を開始しました。今後は、さらに横のつながりを広げて、北九州市をダイヤモンド半導体の分野でも盛り上げていければと思います。



▲株式会社Power Diamond Systems 代表取締役 藤原辰也さん

問 産業経済局未来産業推進課 ☎582・2905、宇宙産業推進室 ☎582・2716